

可視光レーザーモジュール HPU50222, 223シリーズ

古河電気工業株式会社

FBG (Fiber Bragg Grating) により波長安定化された高信頼性 976nm 半導体レーザーダイオードまたはファイバーレーザーを、波長変換素子と組合せた青～緑帯の可視光レーザーです。



特長

- 高い光出力 (20mW) と長寿命を両立
- 基本的にメンテナンス不要
- RoHS指令に完全準拠
- 実験に適した中型タイプ。高速変調用の AOM モジュールの搭載可能
- 高い波長精度と光出力安定性
- 偏波保持ファイバ出力。優れたビーム形状を持ち、取り回しが容易
- 出力端は FC コネクタと専用コリメータが選択可能
- RS-232C インターフェースを装備。外部から容易にコントロール可能
- DC+5V 単電源 (HPU50222 488nm) または、DC+5V, DC+3.3V 駆動 (HPU50223 555, 560nm)

仕様

		備考
中心波長	488±2nm, 555±2nm, 560±2nm	
最大出力	20mW	
サイズ・重量	185W×300D×38H mm/2kg	
消費電力	<18W (HPU50222), <39W (HPU50223)	
電源	DC+5V, DC+3.3V (HPU50223のみ)	
外部 インターフェース	RS-232C	高密度 D-sub15ピン コネクタ (メス)